



▲ 1年生の音楽劇「大きなカブ」

練習どおりにできたかな…

12月2日、小学校の音楽発表会が行われ、会場のこもれびの館は、詰めかけた父兄などで超満員となりました。

「はばたけ鳥」の全校合唱で始まった今年の音楽発表会。各学年とも合唱に加え、笛の合奏や器楽合奏などを取り入れ2曲から3曲を披露しました。中でも今回が初めての音楽発表会となった1年生は、音楽劇「大きなカブ」に挑戦。歌はもちろん、セリフあり、演技ありとちょっとしたミュージカルとなり、初々しい演技には会場から大きな拍手が贈られていました。



2年生が歌った「あわてんぼうのサンタクロース」



6年生は最後の音楽会

広報 ひがししらかわ

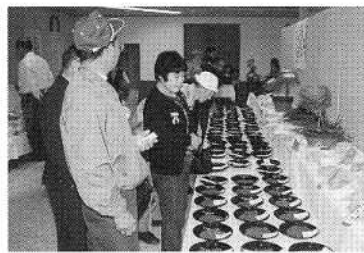
1995 12 No.414
平成7年

人口の動き

世帯数	907	世帯
人口	3,367	人
転入	2	人
転出	5	人
出生	0	人
死亡	1	人

先月と比較して4人減
昨年と同月と比較して27人減

の里に笑顔いっぱい



▲恒例の農産物品評会



▲子どもたちの人気を集めた駄菓子屋

今回から名称を「秋フェスタ」と変更し、場所もはなのき会館周辺に移した産業祭が、十一月十二日に行われ、約四千人が来場、秋晴れの空の下、大賑わいの日となりました。

▲駐車場を利用した屋外バザー会場。このお店も夕方までには全て完売



▲ピンクレディーは本物そっくり?

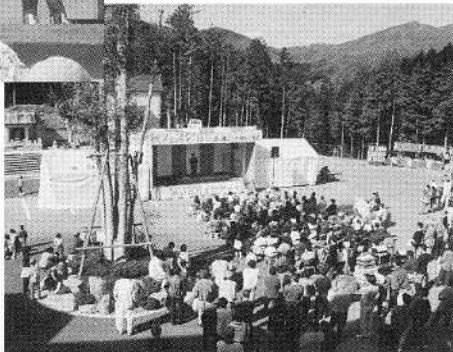


▲わら細工教室



▲根強い人気のくじ餅投げ。今回もフィナーレを飾りました

特設ステージを舞台に行われた「歌でつづる50年」は大好評



秋フェスタ'95



村の秋の一大イベント産業祭。場所をはなのき会館の周辺に移したことで、屋内の展示をはなのき別館で、屋外のバザーは駐車場を利用し、また、はなのき会館前には特設ステージが設けられました。来場者の駐車場は、総合運動場となりましたが、そこからは、十五分間隔でシャトルバスを運行。会場はお昼ごろには、あふれんばかりの人だかりとなりました。

今年のテーマは、戦後五十年目の節目ということから「語り継ごう「村の半世紀」」。このテーマにそった展示や催しもいくつか行われました。そのうちのひとつで今回の目玉ともなった「歌でつづる五十年」では、戦後親しまれた曲など十五曲を十五組の皆さんが熱唱。中には、衣装や振り付けまでこだわった組もあり大好評。そのほか展外会場では、竹馬やフラパーなど懐かしい昔の遊びやお年寄りに習うわら細工教室なども人気の的でした。また、恒例の催し農産物品評会やお茶まつり、アニメビデオ上映等の集まった屋内会場、各種バザーで賑わった屋外会場などこもれびの里は、終日笑い声がこだましました。

話題集めて10周年「ギネス東白川何でも村」

「村に明るい話題を…」と昭和61年

に始まった「ギネス東白川何でも

村一番」が10周年を迎えました。

十年間の認定数は、

百四十一点に…

毎年、産業祭の会場で話題を集める「ギネス東白川何でも村一番」。今年の秋フェスタでもはなのき別館の会場で、公式記録の写真展示と、今年新たに認定された九点の記録の原寸大イラスト展示が会場を賑わせていました。このギネス、今年で十周年を迎えました。



ギネス記録の公開は産業祭の呼び物の1つ

録したものは百四十一点、その中で記録が更新されたものが四十五点あり、現在の公認記録は九十六点を数えます。

ギネスには十二部門あり、この内最も記録が多いのは野菜部門です。野菜だけで実に三十九点を数えています。

下の表は、野菜部門の記録の推移を現したものです。長さや重さに記録のあるものもありますが、さすがに十年ともなるとどれもこれも大きいものばかり。今後「記録更新を…」とチャレンジ

精神旺盛な方は、野菜以外の、記録の少ないほ乳類や鳥類あたりが狙い目。これからも愉快な記録をお待ちしています。

今年の公認は九点

三人の方を特別表彰

今年、新たに記録に登録されたものは、更新が二点、新規登録が七点。記録を作った皆さんには、秋フェス

夕開会式で認定証を交付。また今回は、十周年を記念し、これまでこの企画にさまざまな形で参加して下さった松岡勝さん（陰地）、田口安幸さん（日向）近藤富雄さん（柏本）の三人の方に特別労賞が贈られました。

認定者は次の皆さんです。（敬称略）

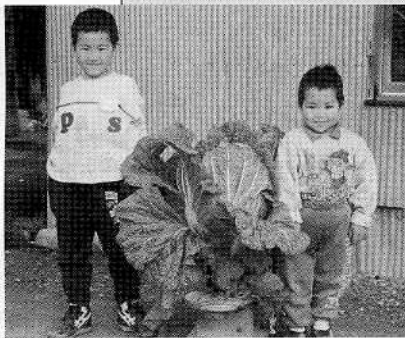
- ▽スイカ十七・三ノ安江季乃▽カキ四百五十ノ樋口春市▽イネ一本からの分けつ九十一本ノ今井郁▽ユリの鱗茎九百五ノ今井好美▽チューリップ草丈六十七ノ河田あや子▽イトラン草丈二百六十八ノ田口安幸▽松茸四百五十ノ安江雅人▽イワナ七百ノ安江朋也▽マゴイ釣り上げ四・五ノ安江一美

松岡さんがまたまた自己記録を更新

今までの白菜の記録は九・九キ。これは、陰地の松岡勝さんの記録ですが、この記録は、自己記録を二回更新したものです。その松岡さんが「もうこれ以上のものではないのでは…」というほどの白菜ができました。

重さ実に十・四キ。

秋フェスタ前日に申し込みがあり、当日は現物を展示し、認定は来年になりますので、誰かこの記録に挑む人ありませんか…。



種別	単位	昭和61年	昭和62年	昭和63年	平成元年	平成2年	平成3年	平成4年	平成5年	平成6年	平成7年
きゅうり	重さ	824g				855g	1,580g				
	長さ		48.5cm				52cm				
さつまいも	重さ		2,600g			3,500g		3,800g		4,900g	
	重さ		5,000g	6,800g		7,900g		8,000g	9,900g		
白菜	重さ		5kg			11kg		12kg		13.4kg	17.3kg
	重さ		14kg	40.6kg	47kg		78kg				
すいか	重さ		835g		990g						
	長さ		42.5cm	52cm							
なす	重さ			5,750g		8,600g					
	長さ				3kg			7kg			
大根	重さ										
夏大根	重さ										
桜島大根	胴回り				58.9cm				75cm		
赤かぶら	直径				19.4cm			19.5cm			
ねぎ	長さ					108cm		111cm	114cm		
	重さ			4,500g						5,900g	

※ 更新のあった記録のみを掲載。太字は現在の公認記録



檜茶太鼓10周年記念公演



昭和六十一年に村で産声を上げた「檜茶太鼓」。今年が数えて十周年となりました。この間に村内外で行ってきた演奏活動は、百回以上を数えています。去る十一月二十六日には、この十年の集大成としての記念公演がはなのき会館で行われました。

十年の節目に 新しい試み

「今までの演奏は、例えば何かの催しなどの一部として出演していたので、今回のように檜茶太鼓がメインになるのは初めての経験。見に来て下さるお客さんのことを考えて脚本から構成まで全てをやったことは、本当にいい経験になりました」と話してくれたのは、檜茶太鼓保存会長の今井邦光さん(平)。檜茶太鼓の十周年記念公演は、この言葉どおりのまさに「檜茶太鼓コンサート」。素晴らしい公演となりました。一部、二部からの構成で、曲はおなじみの「茶摘太鼓」や「真鶴太鼓祝い打ち」など全八曲。この日のために各曲をアレンジし、練習にも約三か月前から取り組んだ成果を余す所なく見事に披露。また、一部の最後には新曲「鳥」も披露されました。この曲は、中谷にアト



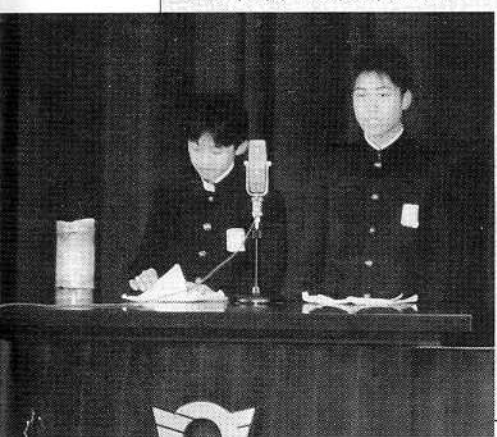
見事なバチさばきを披露

リエを設けて年何回か村を訪れている東京の音楽家松岡正先生の作曲によるもの。一部と二部の間に、先生の教え子の中のお二人が、ピアノと歌を披露する一幕もありました。公演は、曲と曲の間にも保存会の皆さんが趣向を凝らした余興を取り入れるなど最後まで大盛況となりました。

これを伝統にして若い人に 守っていつてもらいたい

公演を終えた今井会長は「十年間の思い出の演奏は、未来博と花フェスタの時です。やめようと思えば、いつでもやめられ。しかし、村民の皆さんはもとより、発起人の古田昌勝さんをはじめ商工会の皆さんなど裏で支えて下さった皆さんの力があつたからこそ、ここまでできたと思います。今後は、村の伝統として若い人たちに引き継いでいってもらえれば」と話してくれました。

福祉体験を発表した安江一樹さん(左)、土井克哲さん



福祉の村づくりを目ざして —第2回社会福祉大会

十一月二十六日の午前中には、はなのき会館で「第二回東白川村社会福祉大会」が行われました。

四年振りに開催されたこの大会は、福祉の村づくりを目指して福祉の啓蒙を目的に行われたもの。大会では、社会福祉に貢献された個人、団体への表彰のほか、多年にわたり家族を介護される六人の方に感謝状が贈られ、また、三十九年にわたり民生児童委員を勤められた今井一雄さんほか四人の皆さんに、村長から感謝状が贈られました。式典に続いて、福祉協力校の小中学校から小学六年生の安江瑞穂さん、安江あゆみさん、中学三年生の安江一樹さん、土井克哲さんの四人がそれぞれの福祉体験を発表。また、この日は、日赤奉仕団、かすみ草、有瑠美会の皆さんが、豚汁と五目ご飯のサービスマチヤリティーパーティーを行いました。

行政改革大綱まとめ

最小の経費で

最大の福祉を目指し

“地方の時代”という言葉が聞かれるようになって久しいですが、地方主権が進み、行政に対する要請が経済優先から“生活の豊かさ”に変化している現代、その要請は、高齢化社会への対応、保健・福祉・医療の一体的な推進から、上下水道の整備などにいたるまで生活環境の整備は多様化してきています。

反面、行政を取り巻く環境は、財政的にも人的にも限りがあります。こうした中で村民の福祉を最重要課題とし、“仕事量の増大、範囲の拡大、質の向上”に対応することのできる合理的な新しい行政の仕組みづくり

が求められています。

村では平成八年度から十二年度を推進期間とし、合理的な行政の推進を目標に、このほど「東白川村行政改革大綱」を策定しました。

行政改革を進めるにあたっては、村長を本部長に置き、村四役と課長からなる行政改革推進本部を設置。また、民間からの意見を取り入れるための諮問機関として田口哲彦さん（平）を会長に、議会や各種団体などから女性四人を含み十人からなる行政改革推進委員会が設けられました。

行政改革推進の六つの柱

行政改革大綱に盛り込まれた重点事項には次の六つの柱があります。

今後の村の取り組み

① 業務の委託

・役場の業務のうち、民間へ委託することが可能なものがあります。その中で、登記業務については、地積測量図の作成を中心に民間への委託を計画しています。可能なものから順次推進します。

② 事務の電算化

・電算機を導入して、印鑑証明の発行等、窓口業務のスピード化を図ったり、予算執行の管理を手作業からコンピューターによる機械処理に移行する計画で、農地の管理や各種徴収事務なども順次電算化する方針です。

③ 各種団体事務

・現在自主的に自立した形で団体活動が行われていますが、村が、各分野の施策を推進するうえで、その存在は大きな特徴を持っています。今後も各団体の自主性を尊重しながら、その活動を支援していきます。

④ 委員会の見直し

・各種委員会活動が、これからの時代に合った形で展開されるよう順次見直します。

⑤ 補助金の見直し

概要

- ・廃止／6件
- ・終期の設定／2件
- ・内容の見直し／3件

⑥ 事務の簡素化

・統計資料などの数値を電算機に登録して利用できるようにする計画です。

- ・図面（橋梁・建物等）のマイクロフィルム化。
- ・文書・資料の簡素化。
- ・経費の節減、事務の合理化について検討する。

☆ 組織・機構の見直し

・新たな行政課題や住民ニーズに対応し、地方分権も視野に入れながら弾力的に機構改革を実施する。

- ・保育園児の減少に伴う保育園の統合を検討し、職員の再配置を行う。



村長に対し田口会長からの答申

① 事務
事業の見直し：第三次総合計画を軸にして事務の電算化、簡素化を図る。

② 組織、
機構の見直し：住民ニーズに対応する組織の簡素化。

③ 定員管理、給与の適正化：厳しい財政事情の中で定員管理の適正化を図る。

④ 職員的能力開発：長期的視野に立った職員的能力開発を図る。

⑤ 行政の情報化：情報化の計画的な推進。

⑥ 公共施設の管理運営：効果的、効果的な施設の管理運営を図る。

おし せ ら

こんにちは 社協です

現在、社協に登録しているボランティアの皆さんは延べ二百人余り。このほか、老人クラブ、小中学生など、たくさんの方々がボランティアとして活躍しています。

「無償でも活動を通じて心が豊かになる」これがボランティアの基本の一つです。きっかけのつかめない方、できることから始めませんか。

農業委員選挙が行われます

平成八年は、農業委員会委員選挙が七月に実施される年です。

選挙資格は、十アール以上の耕作者か、その同居の親族で、年間六十日以上農業従事者に限られます。

選挙資格を有する方は、選挙人名簿登録申請書に必要事項を記入のうえ、農業委員会（役場農務課）へ営農組合長を通じてご提出下さい。

無事故で年末 笑顔で年始

正月の買い物やふるさとへの帰省、初詣などで、人や車が慌ただしく動く年末年始。例年この時期には交通事故が多発しています。道路を利用する一人一人が心にゆとりをもって、交通事故防止に努めましょう。

- 運転者は：
 - ・スピードは控えめに
 - ・飲酒運転は絶対やめる

看 護 資 格 を お 持 ち の 方 へ

- ・シートベルトの着用
- 歩行者、自転車利用者は：
 - ・道路横断時の安全確認
 - ・薄暮、夜間の外出は、反射材を活用し、自分の存在を早く知らせるような工夫を

看 護 資 格 を お 持 ち の 方 へ

看護婦希望者でナースバンクへ出向くことが困難な地域の人たちのために、再就業移動相談会を次の日程で行います。

- と き／二月六日(日)
午後一時～四時
- ところ／多治見市総合福祉センター

また、免許を持ちながら就職をしていない看護婦「保健婦(士)、看護婦(士)、准看護婦」を対象に講習会が開催されます。

- 期 日／一月二十九日(月)～二月二日(金)
- ところ／(株)岐阜県看護協会

※詳細は、(株)岐阜県看護協会 ☎〇五八(二七七) 一〇〇 九までお尋ね下さい。

シンボルマーク募集 サンシャイン美濃白川

来年四月のオープンを目指し、白川町坂の東地内で急ピッチに工事が進められている特別養護老人ホーム「サンシャイン美濃白川」。去る十月十六日には上棟式が行われ、現在までにその約六割が完成しています。

このほど社会福祉法人白泉会では、利用者の皆さんはもとより、誰でも気軽に訪れていただくことができるような親しまれる老人ホームづくりを進めるため、シンボルマークを募集しています。

温かさを感じるようなデザインをご応募下さい。

◆ 応募要領／ハガキにシンボルマークを書き、住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえご応募下さい。

◆ 応募先／白川町役場内(株)白泉会サンシャイン美濃白川開設準備室

◆ 締切／平成八年一月十九日

歳末たすけあい募金

全国からお寄せいただいた寄付金は、皆様の住む地域の一人暮らしや寝たきりのお年寄り、体の不自由な人など、さまざまな手助けを必要としている人々のために役立てられます。

今年も皆様のご協力をお願いいたします。



保健婦だより

く心に優しい
食事学》
《元気が出る食
事あれこれ》
基本的には、規
則正しく栄養バ
ランスのとれた
食事をするこ
とです。
●ストレスへの
抵抗力を高める
ビタミンC(新
鮮な野菜・果物)、
リノール酸(植
物油)
●神経を静める
カルシウム
牛乳、乳製品、
小魚
●不眠やイライ
ラにビタミンC
タマネギ、豆腐
●消化、吸収が
良いタンパク質
納豆、豆腐、白
身魚
●不安を静める
マグネシウム
アーモンド、海
藻類、そばなど

35人が大人の仲間入り 東白川村成人式

一月十五日、新成人の門出
を祝う「東白川村成人式」が
次の日程で行われます。

◆とき／一月十五日(月)

午前十時より受付

◆ところ／はなのき会館

来春、成人として大人の仲
間入りするのは三十五人です。

なお、成人式では式典終了
後、午後から「幸協直人&フ
ラウト・ダ・モーレ」による
演奏会が行われます。一般参
加もできますので、ぜひご来
場下さい。

ご利用下さい

交通事故相談所

毎日どこかで悲惨な交通事
故が発生しています。それは
決して他人事ではありません
県では交通事故相談所を岐阜
総合庁舎、恵那総合庁舎、飛
騨総合庁舎に設けています。
これらの相談所では、専任の
相談員が交通事故から生じる
諸問題の相談に心じています。

◆岐阜県交通事故相談所本所
☎〇五八(二六四)一一一一
◆恵那出張所☎〇五七三(二
六)一一一一 ◆高山出張所☎
〇五七七(三三三)一一一一

二十歳になったら

国民年金

国民年金は、日本に住む二
十歳から六十歳までの全ての
人が加入し、保険料を納めて、
将来、老齢・障害・遺族にな
ったとき生活に困らないよう
に年金が受けられる制度です。

☆自営業・学生の皆さんは、
自分で加入手続きを…二十歳
の誕生日を迎えたら住民登録
のある市役所・役場の国民年
金の窓口で加入手続きをしま
す。このとき印鑑が必要です。
定額保険料 月額一一、七
〇〇円(平成七年度) 付加

保険料 月額四〇〇円

☆会社員は、加入手続きの
必要はありません。就職のと
き会社で厚生年金(または共
済組合)と同時に国民年金に
加入しますので、新たに加入
する必要はありません。保険
料は給料から天引きされます。
☆年金手帳を大切に…年金
手帳は「一人一手帳」で一生
使います。今後、年金のいろ
いろな手続きが必要になっ
てくるので大切にしましょう。

一月十日は

一一〇番の日

ジ・ポ・パ、すばやいコ

一ル一一〇番の日

皆さんからの一一〇番は、
そのほとんどが県庁七階にあ
る県警本部通信指令室につな
がります。一一〇番の内容は、
すぐに無線連絡で県下各地に
伝えられ、パトカーや白バイ、
警察署や派出所の警官などが
一斉に活動を開始します。

◆一一〇番、五つのポイント
①何があった(泥棒、事故)
②いつ、どこで(時間、場所)
③どんなこと(けがの有無)
④犯人は(人相、逃走手段)
⑤あなたは(事件との関係)
※係員のリードで、落ち着
いてゆっくり話して下さい。

けいじばん

【戸籍】 (敬称略)

●おくやみ申し上げます

今井 林平 81歳(平)

【善意】 (敬称略)

【社会福祉施設整備指定寄付】

現金10万円=今井克次(平)

【社会福祉協議会へ】

現金10万円=松島勇次(中谷)

【病院医療整備指定寄付金】

現金20万円=田口直美(加舎尾)

【東白川中学校へ】

竹ぼうき43本、ぞうきん142枚・老人クラブ高砂会

【越原保育園へ】

砂場用砂=荻田正敏(陰地)

【五加保育園へ】

子ども用自転車2台=榎安江建材(柏本)

《平成7年国勢調査の結果》

※村内分のみ。()内は、平成2年国勢調査の結果

【世帯数】 922戸(899戸)+23戸

【人口】 3,196人(3,323人)-127人

TOPICS

作る 気分はすっかり陶芸家 生きがい事業の葉型皿作り

元気なお年寄りたちを対象にして、こもれびの館で実施している「生きがいづくり事業」。この十一月からは、陶芸教室が始まっています。現在参加者の皆さんが取り組んでいるのは、陶芸作品の初歩葉型皿です。薄く切った粘土に本物の葉っぱを押し当てて葉の形に切り抜き、水がこぼれないような形にして模様を付け第一段階終了。できあがったものを自然乾燥させておき、次の教室の際、うわ薬と呉須と呼ばれる絵の具を使って色を付け、完成品には三回目の教室でお目にかかれるというものです。

うわ薬も織部など五種類あり、絵の具も十数種類そろっており、まさに本格的な陶芸作品。参加者の皆さんは、六班に編成されており、取材に伺った日は、中通、上親田、陰地の皆さん十人が熱心に取り組んでいました。「同じ葉を使ってそれぞれの個性で違ったものができるのが楽しいですね」とはある参加者のご感想。楽しみな完成は来春になります。



簡単そうで、これがなかなか技術を要する…

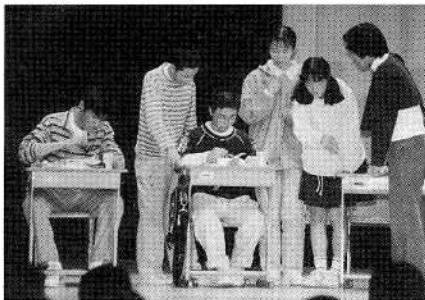
演じる 重いテーマに正面から挑戦 東中文化祭



3Bの「春の鐘」は時代もの

去る十一月十八日は、なのき会館で中学校の三大行事の一つ「文化祭」が行われ、三学年四クラスの生徒たちがそれぞれ演劇を行いました。約二週間たらずの練習期間で、見事な演技を披露した生徒たち。見ていると緊張から思わずセリフが早口になってしまった一年生の初々しい演技もあれば、三年間の集大成と取り組んだ三年生の見事な演技など目を見張るものばかりの連続。

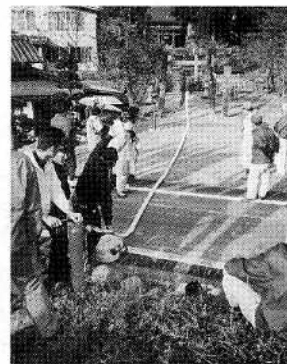
特に三年生は、取り組んだ題材も重いテーマでした。A組は時代物で、おばあさんが子どもたちに昔話を語りかける設定。またB組は、関東大震災の朝、鮮人虐殺事件を背景にした人種差別問題が題材。セリフには方言もあり覚えるだけでも大変そうでしたが、素晴らしい演技を見せてくれました。



差別問題を題材にした3Bの「今度はきっと」

防ぐ 住家火災に強い味方 越原地内で消火栓稼働

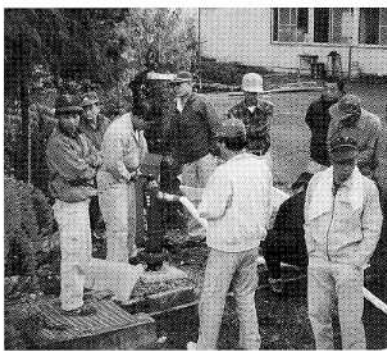
簡易水道の給水が始まっている
大明神と黒
淵の一部、
栃山、陰地
日向の一部
で、この十



子護神社の境内での研修

一月から消火栓が使用できるようになりました。消火栓自体は、給水開始から使用可能でしたが、備え付けのホースなど備品の整備があったため、この時期になったもの。十一月十九日には、消防団の皆さんのご協力で、越原地内四会場取り扱い説明会も実施されました。

今回、使用が可能になった消火栓は全部で百十基。もし、火災が起きた場合、消防署や消防団の到着するまでの間の初期消火に大きな効果が期待でき、また、住宅火災はもちろんのこと、林野火災が発生したような場合でも、貴重な水利として期待される消火栓。火災は、起きてはならないことですが、万が一のことを考えれば、待望の頼もしい設備が登場したといえるでしょう。



黒淵地内の研修

利として期待される消火栓。火災は、起きてはならないことですが、万が一のことを考えれば、待望の頼もしい設備が登場したといえるでしょう。

話題集まれ!

打つ

試合に応援に
熱い戦いの連続

十二月最初の日曜日の三日、小学校体育館で「子ども会親睦卓球大会」が行われました。

平成四年から中学生も加わったこの大会。個人戦、団体戦に集まった選手は約百五十人。



アララ…思うように当たらない

この日は、天気は良かったものの木枯らしの吹く寒い一日でしたが、選手はもちろん、応援団も選手が一ポイント取るごとに大歓声となり、体育館内は、子どもたちの熱気に包まれました。なお、各部門の優勝者、および優勝団体は次のとおりです。(敬称略)

◆団体戦(八チーム) 日向・曲坂A

◆個人戦

- ▼「三年」今井かやの(黒淵)
- ▼「四年」桂川亜希(日向)
- ▼「五年」今井健太郎(大沢)
- ▼「六年」安保好美(大沢)
- ▼「中一」安江さくら(上親田)
- ▼「中二」嶋倉大二郎(陰地)



寒さも吹き飛ばす熱戦?の連続

訪れる

「村民の協力に感謝」
東海テレビ一行が来村

今年三月に放映され、大きな反響を呼んだ東海テレビ制作のドキュメンタリー番組「村と戦争」。この番組が、高い評価を受け「放送文化基金賞」、「ギャラクシー賞」、「日本民間放送連盟賞」、「FNSドキュメンタリー大賞」、「中部放送作家協会賞」という5つの大きな賞に入賞しました。



佐藤局長から感謝状が贈呈

去る十二月七日には、東海テレビから佐藤卓男報道局長、南正人次長ら五人が来村。受賞の報告とともに「村をはじめ村民の皆さんの温かいご協力があって、素晴らしい作品になりました」と佐藤局長のあいさつの後、東海テレビから村へ感謝状が贈られました。



番組の舞台の1つ「平和祈念館」を見学

同行した番組のディレクター阿武野勝彦さんは「この番組は、ここ数年のうちで最も多受賞した作品になりました。これも皆さんの協力のおかげです」と感想を話してくれました。

輝く

村民の歯科保健に尽力
熊崎先生に厚生大臣表彰

「村で開業した当時は、村内に歯科医がありませんでしたから当時の神土、越原、五加小と中学校に、学校で歯の検診や簡単な治療ができるようにと機械を寄付し、学校で歯の治療を行いました。神土小が健康優良校で日本一に輝き、また、各小学校とも歯の健康優良校で県一位になったことは一番の思い出です」。

このほど東京で行われた「全国歯科保健大会」の席上、昨秋の文部大臣表彰に続き、熊崎歯科医院の熊崎道一先生が厚生大臣表彰を受賞されました。先生は、昭和二十九年開業と同時に小中学校の校医に就任。以後、現在まで児童生徒の歯科保健面での充実に邁進され、また、乳幼児を対象に、はみがき教室やフッ素塗布などを実施し、歯科予防に対する意識を高めるなどの活動が大きく評価され受賞となったものです。今世の中は豊かになりましたが、食生活面を考えると加工食品が増えており、こうしたものは、今後歯ばかりでなく体全体に影響が出るのではと心配しています」と今後のことについても話して下さいました。



喜びの熊崎先生



子ども会卓球大会より

今月の笑顔さん

松尾芭蕉は流離の俳人と呼ばれ、ほとんど一生を旅に過ごしたといわれます。

年暮れぬ笠着て草鞋はきながら 芭蕉

旅姿のまま年の暮を迎えた感慨が、淡々とそしてわびしく胸に迫ります。

旅人と我名よばれん初しぐれ 初時雨は、その冬はじめの時雨。時雨とは、初冬、急にはらはらと降り出して通り過ぎて行く雨。……とありますが、自動車や新幹線の現代の旅では時雨の旅情を味わうことなど今や不可能に近いことでしょう。

奥の細道の旅の途中、美濃の国大垣まで辿り着いた芭蕉は、病いの床に伏すこととなります。旅に病んで夢は枯野をかけ廻る (文中の句はいずれも松尾芭蕉)

みんなが公園…のよつなペーパージ

「二十一世紀の地歌舞伎振興に向けて」

東白川村歌舞伎保存会長 今井 啓市

年の瀬を迎え、村内の皆さまにはお変わりなくお過ごしのこととお察し申し上げます。

この秋に行いました歌舞伎公演も皆さま方の深いご理解と厚いご協力をいただき、無事盛大に執り行うことができましたこと、役員、役者を代表し厚くお礼申し上げます。

さて、今、日本の現状を考えますとき、これまで引き継がれた素晴らしい文化や慣習、伝統が失われつつあるように思います。私たちは、地歌舞伎の保存を通じ、後継者の育成に努め、村の伝統芸能を保存伝承していかうと考えております。昨年発足しました歌舞伎保存会は、来秋「復活二十周年記念郷土歌舞伎公演」を予定しております。また、三月十七日(日)には、坂祝町の中央公民館において開催されます文化協会主催の地歌舞伎公演に出演する予定になっております。

村内の皆さまには、村の大切な伝統である郷土歌舞伎を守り、伝承していくため、今後もなお一層のご理解やご協力、ご厚情を賜りますことをお願い申し上げます。お礼の言葉にかえさせていただきます。

お便り



職場から

ミス白川

年の瀬で大忙しのJAみのかも東白川支店にホットな話題!。金融課窓口で座る小川佳子さんが、

去る十一月三日に白川町で行われたイベントで「ミス白川」に選ばれたのです。小川さんは、白川町中川から村へ通っており、二年前から東白川支店に勤務しています。

農協では、すっかりおなじみの顔の小川さん、ミス白川に選ばれた感想を「推薦されて出たんですけど、もちろん自信なんかありませんでしたし、まさか私が選ばれるなんて思ってもみませんでしたから、嬉しさより驚きの方が大きかったです。先日、岐阜で行われたイベントの物産販売のお手伝いをして少し実感がわきました」と明るい笑顔で話してくれました。



▶今井 知恵ちゃん (保喜さん・真由美さん)

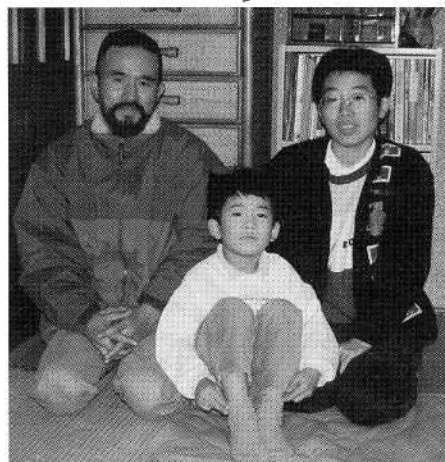
|| 柏本



▶安江 優希くん (敏之さん・真里子さん)

|| 柏本

プラス 1
ツーツョット
1ターンの家族



竹内良雄さん・恵子さん・岳くん

今月は六月に彦根市からIターンし、森林組合で働く曲坂の竹内良雄さんご一家をお訪ねしました。
竹内さんご一家は、ご主人と奥さんの恵子さん、小学一年生の岳君の三人家族。現在、奥さんはご実家のある高山市内の小学校の先生をしているため、ご主人が単身で住んでいます。
「学生時代から環境問題に興味があり、将来自然と共生できる生活を、と考えていました。三十を過ぎたころから夢は膨らみ、農林業

主体の仕事がしたくなり、家内の実家のある岐阜県内のいくつかの森林組合等を訪ね、職業体験などをさせてくれた東白川に決めました。とこの村を移転先に決めた話をしてくれた竹内さん、村の印象は「村の人がみんな家族的で温かく、山や川に囲まれた生活は安心感がある」とのこと。
現在は、奥さんの仕事の関係もあって家族が会えるのは二週間に一回ですが、「将来は村に定住を」と話してくれました。

今月のことば

やっぱり人間は、たとえ「回り道」であっても、性急にならずにお互い尊重しあって、共に生きてゆくところに心の豊かさを発見することができるんでしょうね。
フランソワーズ・モレシヤン



村内の二十の集落を全て見てきましたので、今回は、越原について調べてみました。
明治二十二年、東白川村が誕生する以前は、越原地区は、越原村でしたが、「新修東白川村誌」は、その開起や地名について次のように伝えていきます。
『旧村誌』によれば「越原は、近世に至り拓けたる土地にして、その開起は神土より引越したるものなり。：思うに越原の名称は、原野を開拓し、順次引越したるといふ義より出しものならん」と述べており、江戸時代を通じて代々庄屋を勤めた越原家の初代弥兵衛が、天文三年（一五三四）に神土村からこの地に移り住み、一村を開起したに始まるといふこと。
また、同書には乙原が転化したという考えも掲載。甲土（神土）に対してのサブグラウンド的な意味もあるようです。

図書室発・あなたへ

「あるクリスマス」の前年、トルーマン・カポティは父を失っている。
触れあうことの少ない父子だった。カポティ自身、すでに酒とクスリに蝕まれていた。
この作品の翌々年、彼はこの世を去る。最後にもみる夢、だったのだろう。
我々は、ある意味では愛を求め続ける孤独な少年であるかもしれない。



「あるクリスマス」トルーマン・カポティ著



わが家のスター



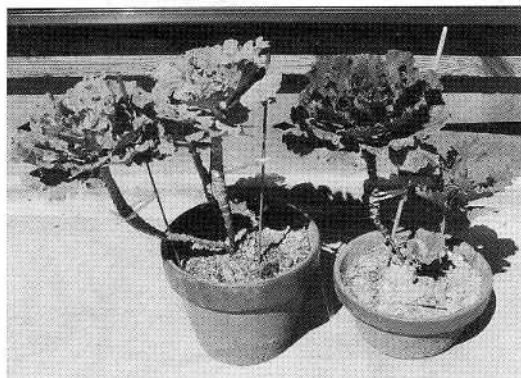
▶安江ひかるちゃん
(義人さん・由紀さん
黒淵)

ホットアングル



お正月に玄関口を鮮やかに飾るハボタン。このハボタン、一般には1年草として扱い、春になって葉が傷むと抜いてしましますが、わき芽を伸ばし、「踊りハボタン」にすれば翌年も楽しむことができます。正月ころには背丈も伸び色も鮮やかになるそうです。

【写真、資料提供：田口穰さん（加舎尾）】



発表の作品

短日の日が移りゆく障子かな
 郷愁の日に日に募る柿の秋
 長き夜の目ざめへじょうじょう笥の音
 松山かへで紅葉映ゆるなり
 菊香の中で幸や露天風呂
 いたじきし大根の皮むくねんごろに
 連れ添へる犬の一瞥秋寒し
 絵のような日々平穏や冬隣る
 神鏡へ集る感謝秋祭り
 天高く草津へとはづむバスの中
 もろこしの甘き木曾路へ入りにけり
 橋渡る人にもやさし秋の風

日向 安江一滴水
 松山 安江 市助
 中谷 田口かずみ
 加舎尾 新田 義男
 松山 桂川 喜郎
 平 安江 武子

手づくりの月見だんご供へけり
 すこやかに干柿の皮むき終る
 稲架棒の丸太重し古希の身に
 バスおりに会う人もなく灯の寒し
 秋立つや咲く花散る花散水車
 コスモスゆれ画廊の窓を覗くなり
 奉納の菰青々と秋祭り
 綿虫の泳ぐ山里冬支度
 蜘蛛の囀の梢に光り秋麗
 待宵や笥の音を庭にして
 露けしや参道を老の曲り腰
 水澄めるわが村未だ一寺なし

平 今井 統子
 曲坂 菊田 清美
 日向 田口 秋映
 加舎尾 今井 周一
 平 安江 すみ
 西洞 河田 重喜

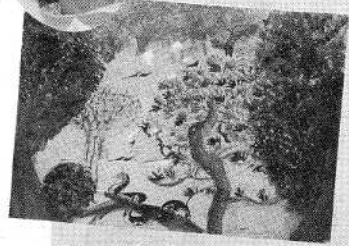
あなたも作品をお寄せくださいー初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。奇数月の二十日までに神土河田重喜宛に出して下さい。



▲「クリスマスリース」
 神土保育園
 やすえまいちゃん (下親田)

▲「クリスマスリース」
 神土保育園
 ひぐちまさかずくん (中谷)

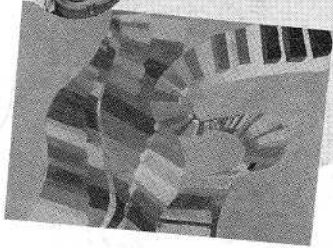
▲「クリスマスリース」
 神土保育園
 むらくもひかるくん (神付)



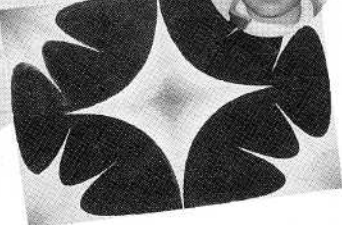
▲「木の物語」
 東白川小学校6年生
 安江あゆみさん(平)



▲「ライオン」
 東白川小学校3年生
 村雲洸佑さん (中谷)



▲「ピアノ」
 東白川中学校1年生
 仲澤 愛さん (曲坂)



▲「未知の世界」
 東白川中学校2年生
 村雲弘子さん (中通)



早いもので今年も残り少なくなり、年賀状をはじめ

やらなければならぬことが山積み。いつもながら終わりが近づくとやらねばならなかったことがよく見えてくる。▼一日の終わり、一年の終わり、人生の後半、考えてみると夢中で過ごしている間は、多少の段取りの悪さは気にならない。気がついたころには、もう少し順序よく、平均化してやれなかったか後悔だけが残る。▼人生も同じ、よく若いうちにもう少しいろいろやっておけばよかったもよく聞く話。今、自分自身の十年経過したときを想像すれば今現在やっておくことが見えるはずなのに。▼自分のこと、家族のこと、仕事のこと、本当にいろいろある昨今、この一年、何が充実し、何が財産になったかしっかりと考えてみたい。そして来年こそは段取りよく、系統的に送ろうと思っている。▼年賀状の準備を始めるころになると、いつもこんなことを思う。一年の反省は年末にあり、大事なことが忘れられることも多い(T)